

日建連表彰「第6回土木賞」を受賞しました

日比谷線虎ノ門ヒルズ駅設置に伴う土木工事（東京都港区）

一般財団法人日本建設業連合会が主催し、2025年11月28日（金）に開催された「日建連表彰2025」において、株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下ATK）が携わった「日比谷線虎ノ門新駅設置に伴う土木工事」が、第6回土木賞を受賞しました。

日建連表彰は、日本の建築・土木分野における優れた取り組みを顕彰し、社会基盤の価値を広く発信することを目的として、2019年に創設された表彰制度です。土木賞は、国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与することを目的に、毎年、優良なプロジェクト・構造物を表彰するものです。

工事の名称及び受賞理由は以下の通りです。

工事名称（所在地）	日比谷線虎ノ門ヒルズ駅設置に伴う土木工事（東京都港区）
受賞理由	東京メトロ日比谷線虎ノ門ヒルズ駅は、環状第二号線新橋・虎ノ門周辺地区の交通結節機能強化として、東京メトロ日比谷線の霞ヶ関駅～神谷町駅間に新設。2015年12月に着手し、東京オリンピック・パラリンピック開催前の供用開始という厳しい短工期を遵守。周辺再開発ビルとの同時施工で、多数の関係者との連携と協力により完成した。



ATKは「確かな技術で、社会づくりに貢献する」のミッションのもと、今後も現場一つひとつに真摯に向き合い、信頼される技術者集団として社会の期待に応え続けてまいります。

以上

＜本資料に関するお問い合わせ＞

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 経営管理本部 高田（03-5246-4150・代表） <https://www.atk-eng.jp/>